

高速道路網の整備促進について

中国部会提出
説明担当 倉吉市

高速道路ネットワークの形成は、企業進出や販路拡大による産業振興、国内・訪日外国人旅行客の周遊エリア及び滞在時間の拡大による観光振興による経済効果をもたらすほか、地域間交流を活性化させるなど「地方創生」を支える重要な社会基盤づくりとなる。

また、緊急搬送や限られた医療資源の活用・連携に資する「命の道」としても機能するとともに、全国各地で発生した災害において、支援物資の輸送はもとより、被災地の復旧・復興や物流・人流寸断の回避に大きく貢献し、大規模災害の発生が危惧されている中で、高速道路はあらゆる国民生活や経済活動における安全・安心の確保に欠くことの出来ない社会資本である。

このような中、山陰道（延長約380km、内供用済176km、供用率46.3%）は中国圏と近畿圏域とを結ぶ重要な基幹路線であるにもかかわらず、きわめて整備が遅れている。

よって国においては、地方創生を支え、地域経済の再生と防災・安全対策等の推進に向けて高速道路網の整備促進を図られるよう、下記の事項について実現されるよう強く要望する。

記

- 1 山陰道の建設促進、早期全線整備を図ること。
- 2 暫定2車線区間について、4車線化の速やかな実現を図ること。